



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-201 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「より良い明日のために今日を築く」 “Building today for a better tomorrow”
アジア地域会長主題	「アクション！」 “Action!”
西日本区理事主題	「風となれ、ひかりとなれ」
中部部長主題	「輪を拓げ 明るく楽しく 元気よく YMCAとともに」
金沢クラブ会長主題	「愛し合い 助け合い 楽しい仲間づくり！ ～YMCAとEMC活動の充実を～」

2020 5 月間強調 LT

今月の聖句 (吉川興志子さん)

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

ローマの信徒への手紙 12章 12節

5月例会プログラム

と き 2020年5月21日 (Thu.) 18:30~20:30
と ころ 金沢ニューグランドホテル
会 費 ¥3,000 (会員は無料) ¥2,000 円 (メット)

開会・点鐘	司会 朝倉みゆき
主 題	山内ミハル会長
ワイズソング	司 会 者
今月の聖句	一 同
ハッピーバースデー	吉川興志子さん
ゲスト紹介	山内ミハル会長
食前の感謝	山内ミハル会長
スピーチ	吉川興志子さん
	宮田悠佑氏

“小学校現場での実践”

委員会報告	
ニコニコタイム	幸正一誠君
YMCAの歌	一 同
閉会・点鐘	山内ミハル会長

5月強調月間

リーダーシップを学んでください！ クラブ・部・区など、あらゆる機会にリーダーシップの学びの場があります。全てを有意義に捉え、スキルアップをして、リーダーシップを身に付けてください。

鶴丹谷 剛 ワイズリーダーシップ開発委員長
(神戸)

4月 クラブ活動状況

第1例会 (4月16日 Thu.)

新型コロナウイルスによる感染予防のため中止

第2例会 (4月2日 Thu.)

メ ン：朝倉、伊藤、数澤、北、幸正、山内

(6名)

メネット：数澤、朝倉

(2名)

ニコニコタイム

0円

クラブファンド

累計 248,000円

BFポイント

切手 0円 累計 0円

現金 0円 累計 0円

会 長	山内ミハル	書 記	西 信之
直前会長	幸正一誠	会 計	朝倉みゆき
副会長	数澤輝夫	メット会長	数澤淑子
	伊藤仁信	メット会計	伊藤悦子

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30
金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
第二例会：毎月1日 18:30~20:00
金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

【4月例会の報告】

新型コロナウイルスの感染防止のため中止

特 集

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**5月例会は中止**とします。緊急事態宣言・特定警戒都市指定のため、不要不急の外出の自粛を求められている現在、会員の皆様がどのような思いで、どのように生活しておられるか、近況を報告して頂きました。原稿を寄せていただいた方々から、五十音順に記載させていただきました。

「ステイホーム！」

朝倉みゆき

「ステイホーム！（外出を控えてください）」その呼び掛けで、我が家の生活も、ほんのこないだまでとは全く変わってしまいました。出掛けたり、買い物したり、友人に会ったりすることは当たり前の日々でした。

緊急事態宣言が七都府県から全国へと広がり、石川県は特定警戒都道府県に指定されました。

朝倉が自動車免許を返納してからは電車とバスを使って出掛けていましたが、11月末頃からお天気も悪くなり、私が車で送り迎えすることが多くなっていました。

4月19日（日）、金沢教会の礼拝を初めて家のパソコンで受けることができました。

「ステイホーム！」は私の生活のリズムも変えました。送り迎えが無くなって、私に少し時間ができました。10年前に森島に来た時、裁断までしてあった布を広げて、ミシンに向かったりしています。日差しの有る時は庭に出てお茶をしたりしています。庭の周りに目をやると、さくらんぼから咲きだして、桜が咲き、御蠟梅（ぎょろうばい）が咲き、今ライラックが咲きだしています。

「ステイホーム！」の呼び掛けで、立ち止まって自分の時間の流れを考える機会となっています。

新型コロナウイルスの感染でお亡くなりになられた方々、また今病氣と戦っておられる方々を覚えて祈ります。

大変な状況の中で医療に携わっておられる方々に心から感謝いたします。（2020.4.20記）

この頃、思うこと

朝倉 秀之

最近は何となく、いろいろ考えます。その中で一人の哲学者のことを思い出しました。その人の名前はマルティン・ブーバー。私が学生の頃、とても流行っていた人物でありました。猫も杓子も「ブーバー、ブーバー」と言っていました。その本の題名は『我と汝』というものでした。この本に私も影響され、学生の頃、この哲学者について文章を書いたものです。現在は残っていません。そのせいかとてもいい文章だったと思い込んでいます。

本の内容はとても難しいのですが、エピソードだけは鮮明に残っています。ブーバー先生が大学で教えていたとき、一人の学生がやってきます。

「先生、人生をいかに生きていけば良いでしょうか」ブーバー先生は丁寧に、いろいろな哲学者の名前（イマニュエル・カント、セーレン・キェルケゴール、フリードリヒ・ニーチェ）などを挙げ、その学生に説明します。とても一生懸命に、心を込めて話しました。

しかし、学生が顔を見せず、心配していた時、その学生が自殺したことを知らされます。すごいショックを受けます。そのことも影響して、書かれたのが『我と汝』だと言われています。対話の哲学と呼ばれる『我と汝』の位置づけです。

「我」と訳されているのは、「わたし」ですし、「汝」というのは、「あなた」です。簡単に言うと、「わたしとあなた」ということです。

「わたし」と「あなた」の関係が築かれる以前に存在するのが「わたし」と「それ」の関係であると言います。「わたし」と「それ」の世界では、人間関係の発展はなく、その関係を超えて「あなた」と「わたし」と呼べる対話の関係に発展するとき世界が広がるという思想です。そしてその対話の関係は、「わたし」と「神」との関係にまで繋がっているというのです。

マルティン・ブーバーは1878年2月8日に生まれ、1965年6月13日に没しています。オーストリア出身のユダヤ系宗教学者、社会学者、哲学者です。そう言えば、2014年に95歳で亡くなられたキリスト教の牧師職でもあり、日本文学に貢献した佐古純一郎氏はブーバーに会ったことがあります。その時、ブーバーと話したのは、日本語の「人間」という漢字の意味でした。人と人の「あいだ」と書いて、人間になるということをブーバーはなるほどと感心したらしい。では、このくらいで筆を置きます。

ある春の一日

伊藤仁信・悦子

2020年4月上旬のある日、家にばかり籠っていても体によくないので外の空気に当たりたいと外に出てみました。近頃のないような春日和の天気だった

ので少し歩こうと思いましたが、自宅の近くに浅野川堰堤とか卯辰山公園とかありますが、毎日の様に見ておりますので少し遠く行きたいと思いましたが、しかし、新型コロナにでも合ったら大変なので家族会議(二人だけだが)を開き三蜜に車内から出ない事、飲食は自前の物の二つを加え五つの条件で出かけることにしました。

しかし、何処へ行けばよいのかよくわからないので地図を広げて探しておりました。探しあぐねていたら昨年(2019年)11月メネット会で行った小松の木場湯公園に確か桜の木が沢山あった事をメネットが思い出したので、とにかく善は急げと小松を目指しスタートすることにしました。花見の時期としては葉桜気味でしたので少し遅いかなと思いましたが産業道路をひたすら小松へ小松へと進みました。沿道には桜の木々が点々と眺められましたが一目千両とまでいきませんでした。しかし、結構目に付き気分的に車内は春爛漫の一步手前位の雰囲気でした。

一本道だったので順調に目的地の近くに来たのでナビは機械的に「この周辺です」と終了しました。見覚えのある道の駅も目に入ったし間違いないと思い公園を横に見ながら走ったがなかなか公園に入れなく通行量の多い道に出てしまいました。国道305号線でした。公園はどこへ行ったのか、木場湯はどこにいったのか。確か昨年(2019年)のレストラン側だと思い(西園地)そこを目指しました。そこへ行けるような曲がり角がありましたので左折をしたら、途中からあぜ道のような幅狭い道路と幅広い道路に分かれていたので広い方を選びました。農地に行くのでないので公園に行くので当然であると思うのが普通だと思います。道路標識もないので、そこを行ったら突然自動車学校の練習場に入ってしまうと驚きました。ここでも自分流に判断してしまう悪い癖が出たとメネットに注意されました。

「迷ったら原点にと」言われておりますので、唯一知っている道の駅まで戻りその案内パンフで確認しやっと中央園地に着きました。天気は晴れており人影もまばらだったのでよかったが湖面からの冷たい風が強くまた、中央園地の桜の木はまばらに生えており花もあまり綺麗に咲いておりませんでした。カヌー場の方が木も多いし花も沢山咲いているようなので移動することにしました。

しかし出発が遅れたのと途中の迷い道もあったので大分日が陰ってきたし、昼食もまだだったのでお腹も空いてきたので休憩することにしました。そ

の前に記念写真をとって手提げを見たら入っておりません。車の中かと思いましたがありません。それでは食事だけでも思ったらそれでもありませんでした。あれ程急いで用意したのに何も持ってきませんでした。全部出発の時、玄関の所に置いてきたのです。お互い車に積んだとばかり思っておりました。誰も悪くはないですが、ガッカリし疲れが一気に出るし風はますます強くなるし「もう帰ろうよ」と、どっかのお笑いのように疲れだけを土産に帰路につきました。無事帰宅出来ましたが、何しにわざわざ出かけたのか分からなくなりました。

《後日談:「何事も思いつきだけでは成功しません。世の中が平和になったら再度同じところへ別コースなどを追加し、万全を期し余裕をもって行くことにいたしました。」》

今年の花見～新型コロナウイルス禍の中で～

敬澤 輝夫

日常生活は毎日の新型コロナウイルス感染拡大との戦いである。3つの密(密閉空間、密集場所、密接場所)を避けよう。不要不急の外出自粛、県外との不要不急の往来自粛を徹底しよう。

石川県が緊急事態宣言を発出するちょっと前の4月9日の午後、家内は双眼鏡、私はカメラ持参で伏見川兩岸の桜見物に出かけた。伏見川沿いの桜並木は毎年素晴らしい。こんなに近くで花見が出来るのは初めてである。新型コロナウイルスの感染拡大防止がもたらした皮肉な小さなつかの間の幸せかも知れない。

そぞろ歩きでのんびり花を愛でる。満開を少し過ぎていたもの、川に張り出した枝いっぱいに見事な花を付けているものなど、飽きずにシャッターを切る。川べりの階段に腰かけて写生をしている女学生、犬と散歩している夫婦、子供と手をつないで花見を楽しんでいる親子等々、自然にお互い、適度な距離を保ちながら、私たちも花見を楽しんだ。川岸から双眼鏡で下流を見ている家内に声をかけると、川の中にカルガモのつがいが泳いでいる、何をしていたのかとよく見ると、どうも食事中?らしい、何やら川の中に頭を突っ込んで藻をしょいで一心に食べていた。道路側の畑には八朔の木が一本、たわわに鮮やかな黄色の実を着けていた。収穫はしないのだろうか?川に沿って続く桜並木、道路を隔てて畑や家並みが続く、左右素晴らしい景色の中、後ろから

駆けっこする親子が通り過ぎていく、元気で浚刺としたその後ろ姿が桜並木のトンネルを駆け抜けて行くのを見ながら家路についた。

コロナはいつ終息するのだろうか？辛抱強く三密を避け、この試練に耐えよう。



ステイホーム～おうちで過ごしてみたら～

数澤 淑子

こんなに家に閉じこもっていたら気が変になるのではと思う位、緊急事態宣言発出後はほとんど外出しなくなりました。もちろん、新型コロナウイルスをこれ以上感染拡大させてはならないという一心での自粛です。日頃はお出かけ過ぎの夫婦が3月以降、関係している会や諸団体のイベント、すべてのスケジュールが次々と中止、無期延期となり、気が付けば、予定がないのが予定の毎日、朝から晩まで顔を突き合わせて、お互いにストレスも溜まろうというものです。更に追い打ちをかけるように、他県に住んでいる長男は、日頃激しく出歩く親たちの生活ぶりが心配らしく、頻りに電話で様子を伺って来るようになりました。毎回「閉じこもっている」、「人と会うな」等々小うるさい姑のように微に入り細にわたり真剣な口調で、耳にタコができるくらいです。しまいには可笑しくなって笑うと、「笑いごとじゃない！」と喝、やれやれ、老いては子に従えということか！有難いことです。こんな生活も慣れれば気楽なものです。時間に縛られることもなく、家の中では終活と称する片付け、筋トレ、庭へ出て春の陽を浴びながら草木やメダカの世話をするなど、密かにこの緊急事態を楽しんでもいるのです。買い物もほとんど生協からの配達で間に合わせています。しかしながら生鮮食品が底をついてきて心細いが、なに、こうなったら意地であと2日配達日まで我慢しよう、コロナ禍で苦しんでいる人たちや医療の現場で苦勞している人たちのことを思えば何でもないこと、一日も早く終息することを祈るのみです。

コロナ禍と自己管理

北 肇夫

新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにさまざまな行事やイベントが中止となり寂しい限りです。このコロナ禍は、いつ終息するのか見通しが立たないため、日常生活のなかで「運動」、「趣味」、「会話」の三つのバランスを意識して行動することが、ストレス解消となり、大切なことといわれています。

基本的には、私の一日の生活のリズムは、規則正しく①起床時間、②3度の食事時間帯、③ラジオ体操、④ウォーキング&ジョギングなどの運動、⑤趣味の時間帯、⑥就寝時間などを守ることが挙げられます。

日常生活のなかでコロナ対策の自己管理は、マスク着用、手洗い、うがいは勿論、ウイルスは口、鼻だけでなく目からも体内に入るそうで、対策としては、目を擦らない、触らないように気を付けることも大切だそうです。

また、「3密」の一つでも避けて、自己管理をしてコロナが早く終息することを願っている。

カレーの夢

北 佳子

昨年12月に1泊2日の旅行に行きました。上越妙高まで新幹線に乗り、そこから直江津観光バスです。まず、ローカル列車・会津鉄道乗車、大内宿散策、溪谷美・塔へつり見学。泊りは鬼怒川温泉です。ホテルの売店に、女将さんと作家の人が知人とかで「金沢水引」が売っていました。

つぎの日は、日光山輪王寺に行き、お披露目になったばかりの三仏堂、日光東照宮を参拝。紅葉名所で歩行者専用の竜神大吊り橋も渡りました。最後に水戸で買い物をして帰路につきました。この旅は、バスでいろいろな道を走り、今自分がどこにいるのか？頭の地図、整理が出来ませんでした。その中で、ある休憩した所の、かなり大きな一角に「いちごカレー」の売店がありました。ほかの方は「こんなの美味しい訳ないヨ」という声を無視して、2パック買いました。食べてみたらなんと美味しいこと！その場所を憶えていません。「どちおとめ使用」とありました。方向オンチの私の結末です。

外出できる日が来たら、ぜひ訪れて、また探して食べたいと思っています。

ワイズ仲間と会えない日々

幸正 一誠

皆さんお元気ですか・コロナっていませんか？

仕事の外食産業はコロナウイルスのため完全にD OWN状態です。小規模の個人店舗は自粛要請を受け閉店中。その中に在って焼肉店のKグループは時短をしながら営業を続けているので、私も細々と仕事をしています。しかし、この先がなかなか見通せない状況であり不安の日々でもあります。

この状況下で今まで考えた事も無かったが、いずれ来るであろう「サンデー毎日」の日々をふと思うのです。退職し仕事の無い日々の事を。さあ～今日から、何すっぺ！俺の趣味はなに？読書の好みは？遊び相手は何人？ううん～これまた不安だな～！！悲しいかな俺も完全に仕事人間？誰にも会えず、会話の無い寂し日々を想像してしまう。そこで『ワイズ』だ！！ワイズの仲間がいる。しかし、今日例会が出来なく仲間と会えない。この状況は何と寂しい事か？平生は無駄口が多い、雑談が多いと感じる例会だが、今その事の素晴らしさに気付かされる。ワイワイ・ガヤガヤが金沢クラブの楽しさの源だ。クラブ仲間との美味し食事と楽しい会話の一時。月一回の例会だが自分のライフパターンに組み込まれていて、ワイワイ・ガヤガヤが無いと寂しさを覚えている今日この頃です。人間生活にとって会話を楽しむ事は如何に重要な事か。言葉を持って生きている以上「喋る事」は我々の生活の原動力だと思う。自動車のハンドルでも「遊び」が安全運転のため必要な様に、ワイズ仲間の「雑談・お喋り」もまた、ワイワイの潤滑油として必要なのですね。皆さんとの再会を願いつつお喋りの内容を日々考えて於きましょう！！

でも！そのあ・な・た！余り『しゃべり』過ぎない様にネ！！

私の3密回避法

西 信之

Stay Home が世界的な新型コロナウイルスに対抗するキャッチフレーズである。休みの間英語力を高めるため、BS1 をできるだけ英語で聞くようにし、映画も字幕を消して見るようにしている。ジョンウエイン監督主演の「アラモの砦」を観た。アラモの伝道所を砦として共和制と自由な世界の確立を目指すテキサス軍とデイビークロケット(ジョンウエイン)率いる少数のテネシー州義勇兵が圧倒的な軍事

力を有するメキシコ軍に立ち向かい、明日の自由な世界を信じて全滅するという物語である。教会の伝道所が砦となっている所に当時のアメリカの希望が感じられる。感傷的なテーマ音楽「夏のグリーンズリーブス」も映画の素晴らしさの一つとなっている。しかし、しかし、このところの不自由な生活とあまりにも感動的な映画に興奮した為、血圧が200を超えてしまい、翌日まで続いた。夜は頭が冴え、眠れない。これでは、休養どころか体が参ってしまう。こんな生活を送っているのは健康に良くないと察し、運動が一番と人がいない山道を歩き回ることにした。

リュックにペットボトルと弁当とタオルを入れ、歩道のある山の上の自動車道を歩く。幾つものコースがあり、比較的楽しいのは、奥卯辰山健民公園の一番奥のパターゴルフ場の上から北側の遊歩道を経由、パゴダの南側遊歩道を経て相撲スタジアムに、ここからは自動車道沿いの歩道を歩いて、卯辰山公園に入り豊国神社を経て天神橋に至り、橋の下の浅野川沿いの歩道を川面を見ながら若松橋まで歩き、上がって桜並木沿いから帰るという約1万7千歩のコースである。このコースは、二、三十人の人とすれ違う。第2のコースは、田上新町を経て朝霧大橋を渡り、湯涌温泉に至る比較的単調だが忍耐のいるコースである。片道が1万7千歩で約2時間半かかる。白鷺の湯が開いており、昼間は数人であった。ほどよい温度の湯で筋肉をほぐすのはたいそう気持ちが良い。第3のコースは、太陽が丘の4連のメタセコイア並木を右に眺めながら丘の上の道を歩き続ける絶景コースである。広い俵町区域に入り、この道は湯谷原町に続くが、大きく回って北陸大学薬学部付近から浅野川の支流沿いに谷を下り、赤い学生寮の側を通って浅野川大橋に至り、いつもの広い道を歩いて帰るコースである。2万歩超で3時間コースであり結構楽しい。藤の花が咲き、山ツツジややまぶきの花も心を和ませた。

中国の武漢では、マンションから出ようとする警備員に呼び止められ全く外出ができなかったそうである。このような規制が1月22日から4月8日まで続いた。人々の鬱積は尋常ではなかっただろう。表面には出ていないが自殺者も多かったようである。規制が解除され、また爆買いが始まったようである。

12月30日の夕方に微信(ウィーチャット)に発信された李文亮医師の報告は、政府によって削除され、政府は「このウイルスは人から人には感染しない」と言い切り、1月22日に至るまで膨大な感

染者と死者を出した。脳出血のような緊急患者もただ放置されたようである。経済協力と称して中国からの大量の移住者が送り込まれていたイタリアでは、中国を上回る感染者死者を出し、ヨーロッパ全体に広がってしまった。これからの世界が、この経験を如何に活かし、新しい経済・政治システムを構築できるかが新時代の鍵であろう。

コロナ禍、外出自粛の日々

山内 ミハル

3月末、石川県はまだ新型コロナウイルスによる感染者8名と少なく、知事が「石川県は安全です。石川県に来なさい」と呼びかけ、一部県民の嚙蹙をかっていた頃、私は昨年春から予定されていましたある会の責任を持っていましたので、「感染を広げることになったら…？」との不安を持ちながら無事、開催終了。ホッとする間もなく、4月初め全国を対象に緊急事態宣言が発出されました。安全なはずであった石川県では、大きなクラスターが6カ所（二ツ屋病院、中日本高速道路、加賀東芝、金沢市内飲食店、県内製造業、岡部病院）も出現、月末には特定警戒都道府県の一つに指定されてしまいました。緊急事態宣言は5月6日までの予定が、5月末日まで延期され、国民は不要・不急の外出の自粛により、不自由な生活を余儀なくされています。

といっても、どちらかと言えばアウトドア派ではない私は、日曜日はyou tubで配信される教会の礼拝に参加し、週1～2回スーパーや銀行、郵便局に出かけ、時には娘宅で孫達とのおしゃべりや食事を楽しむほかは、金沢こころの電話、ワイズメンズクラブ、新老人の会など、ボランティア活動の与えられた役割を好きな時に好きなだけ時間をかけ、楽しんでいます。特に外出できない今、関西や名古屋の方々とWebを通して、電話やメールではできない会議の面白さを覚えました。

一方、昨年3月まで高等学校、専門学校、保育園で勤務させて頂きましたので、私にとっては思い出のたくさん詰まった大切な物も、私が天に召された後、娘・息子や孫たちにとっては全く無用の長物となるであろうものについて、長年気になっていたもので、この際、いいきっかけになると、ちょうど休校中の孫に手伝ってもらって断捨離を始めました。先ずは押入れ、10年も、20年も、中には40年以上、箱に詰められたままになっているものを順に放り出したのはいいのですが、いざ捨てるとなると、惜し

くなったり、思い出がよみがえったり…で、今部屋の中は足の踏み場もない状態です。

コロナが終息しても、この部屋の終息の見通しは立たず…というのが今の状態です。

遠く離れた親友を心に掛けつつ

吉川 興志子

親友が、入院中のご高齢である御主人が、状態の良くない現在、「新型コロナウイルス」の為、面会謝絶になり、唯心配するだけで何も出来ずおろおろする親友を、電話で励ますこと位で自分の無力を感じ、神様に一日も早くこの新型コロナウイルスの終息を願い、親友ご夫妻に温かい御加護と慰めに満ちた励ましが豊かにありますように、毎日祈る日々を過ごしております。

小学校教諭の日々

宮田 悠佑

ワイズメンクラブの皆様、お元気に過ごしていますか？津幡町立条南小学校教諭の宮田です。なかなか会に出席できず申し訳ありません。そして5月のスピーチ担当だったのですが、延期になってしまい残念です。

私は今年は小学校3年生の担任をしております。昨年度の3月から臨時休校が決まり、前のクラスの授業が終わらないまま、子どもたちは春休みを迎えることとなりました。4月始めの1週間は学校再開だったのですが、2週目から再び臨時休校、5月7日から再び授業再開すると思いきや、緊急事態宣言が延び、5月末までの休校延長となりました。子どもたちと会えない辛さや授業できない退屈さがどんどん溜まっています。

我々は現在、保護者や子どもたちとのコミュニケーションを取るために、数回家庭訪問、電話対応をして、子どもたちの学習時間の確保（宿題作成など）と健康把握を行なっております。あとは授業が再開した際の教材研究に明け暮れる毎日です。職員室は三密を防ぐために、時差出勤や年休（有休）を取れる日には取ることを義務付けられています。この生活が長く続いているので、いざ授業再開した時のモチベーションが上がるのか心配で仕様がないうです。また皆さんとも色々お話ししたいので、よろしくお願ひします。